

岡山の魅力再発見！

せつしゅう

ぎよくどう

雪舟と玉堂

ふたりの水墨画家



雪舟は現在の総社市赤浜に生まれ、涙でネズミの絵を描いた伝説でも有名。山水・花鳥・道釈人物・肖像・風景写生と多岐にわたり水墨・着色の両面で画法を多様化させた点も重要。

玉堂は江戸期を代表する水墨画家。現在の岡山市天神山に生まれ、武士である一方、儒学や七絃琴の修学に励む。画家としてだけではなく、音楽家、詩人、また書家としても秀でていた。玉堂は生涯山水を描き続けた。

この対照的な二人の画家についてのお話です。



参加無料

手話通訳・要約筆記
つきます

令和8年 **9月19日(土)** 14:00~15:30

会場 **きらめきプラザ 4階 401会議室**

講師 **岡山県立美術館 館長 守安 収 氏**

定員 **80人**

申込方法 「文化講演会参加希望」、氏名、連絡先(電話番号・FAX 番号)を明記の上、メール又はFAXによりお申し込みください。

- その他
- ・どなたでも参加いただけます。
 - ・できるだけ公共交通機関でお越しください。
 - ・台風接近や大雨警報が発表されるなどで延期することもあります。

知っているようで知らない水墨画の魅力。雪舟と玉堂を通して、日本の伝統美の神髄に触れてみませんか？



お申込・お問い合わせ先

岡山県聴覚障害者センター

FAX **086-224-0236** / TEL **086-224-0221** 岡山市北区南方 2-13-1 きらめきプラザ 4階

E-mail **okatyo@kirameki-plz.com**